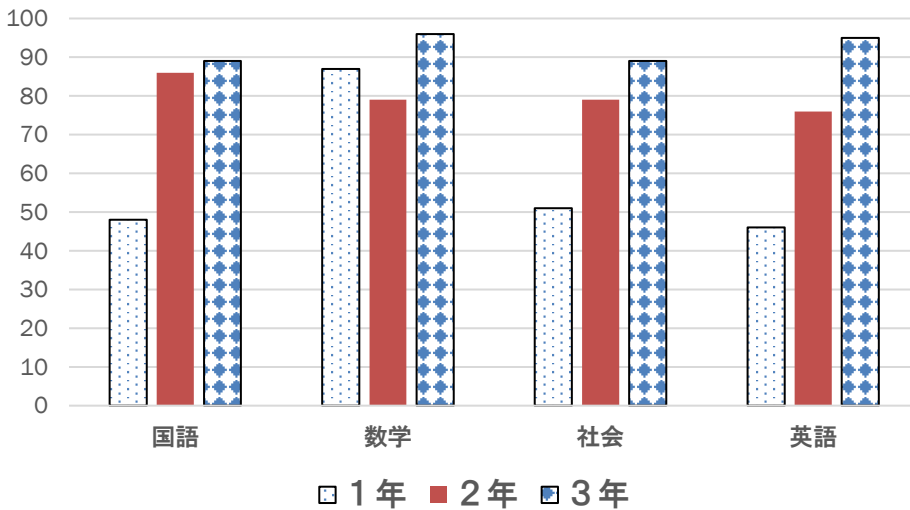


待ちに待った給食  
ごはん いわしの梅煮  
メンマいため煮  
キャベツのみそ汁

# テスト勉強を振り返る

期末テストワーク提出率(%)



藤井颯太 7段は昨日、「ミスが多かった」と自らの敗戦の理由を語っていた。将棋の世界では試合後、勝っても負けても、将棋の振り返りを自分の言葉で行わなければならない。

期末テストが終わった今、私たちもテストに向けた自分たちの取り組みを振り返る必要がある。先週の木曜日が提出日だった各教科のワーク提出率(理科はなし)をもとに、各学年の学芸委員に解説してもらった。

3年生は、1年生の時に比べると、提出率が飛躍的によくなりました。受験生だという危機感をもっているせいだと思います。みんな、「勉強しなければ」という雰囲気になってきています。良いことだと思います。(3年学芸委員 兵庫妃奈)

ワークの提出率がよいのは、受験を間近に控え「やらなきゃ」という気持ちの表れだと思います。昼休みとかも、勉強をしている人が多かったです。(3年学芸委員 小室 遼)

2年生としては、提出率は最低でも80%に届きたかったです。先延ばしにするとたまってしまうので、毎日毎日授業で習うごとに少しずつやっていくことが大切だと思います。

(2年学芸委員 設楽旦陽)

テスト前にしっかり勉強するという習慣をつけることも大事だと思います。ワークを早めに終わすことで、テストの時に力を発揮できるはずです。来年は3年生だということを、意識しましょう。提出物を出せない人は、大人になって困りますよ。(2年学芸委員 小貫柑奈)

授業に集中できない人も多く、ワークの提出率が悪いのも分かるような気がします。ゲームやSNSの誘惑に負けず、どうやって家での勉強時間を増やしていくのが課題です。家に帰ったら、まず勉強する習慣をつくる必要があります。(1年学芸委員 奥山蒼太)

時間をうまく使って、集中して勉強することが大切です。ちょっとした時間を大切に使うことの積み重ねだと思います。先輩達は1・2年生での積み重ねがあって、ワーク提出率もよいのだと思うので、1年生も80%を越えるように、今から努力していきましょう。(1年学芸委員 佐沼美優)

